

I. 平成30年度の実績

グループ名称	さぬき良質住宅の会				
H30採択グループ番号	07	—	0295	—	0660

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	グループに参加している工務店や設計事務所に対し、長期優良住宅や高度省エネ住宅についての設計・施工の技術向上を目的として勉強会を開催し、「質の高い住宅」の普及促進を図った。また、未経験工務店への申請等の支援もおこない、より多くの工務店の参加を支援した。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/03	名称	「平成30年度地域型住宅グリーン化事業説明会」		●	
	内容	本事業の概要説明(補助対象となる住宅、補助金額、補助対象となる経費、着手時期等)、「地域材」の考え方、「三世帯同居対応住宅」の要件について、平成30年度の主な変更点、当グループの共通ルールの説明をおこなった。又、本事務局が香川県協会事務局を務める「住宅省エネルギー技術講習会」についての説明も実施した。							
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/07/21	名称	高度省エネ型住宅完成見学会		●	
	内容	グリーン化事業に採択されたグループ参加企業の「高度省エネ型住宅」について一般消費者向けの完成見学会を開催した。完成時の建物を実際に見ていただき、高断熱・高気密住宅の快適性や省エネ性についての理解を深めていただくことで、「質の高い木造住宅」の普及促進を図った。							
	消費者説明会 2		開催日		名称				
	内容								
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/05/08	名称	「ゼロ・エネルギー住宅に関する勉強会」	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/08/28	名称	「省エネ住宅に関する勉強会」	タイプ	座学	●
	工務店研修会 3	有	開催日	2018/09/08	名称	「増改築相談員研修会」	タイプ	座学	●
	工務店研修会 4	有	開催日	2018/10/19	名称	「耐震診断・補強設計セミナー」	タイプ	座学	●
	工務店研修会 5	有	開催日	2018/11/30	名称	「許容応力度計算セミナー」	タイプ	座学	●

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有						●
	内容	勉強会を2回開催し、長期優良住宅、ゼロ・エネルギー住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅の認定基準、申請方法についての知識の習得を支援した。						
取組み ②	サポートの有無 2	有						●
	内容	住宅省エネルギー技術施工講習会を4回、設計講習会を2回開催し、断熱や省エネの基本から実務までの技術的な習得を支援した。						
取組み ③	サポートの有無 3	有						●
	内容	増改築相談員新規研修会を1回、更新研修会を1回開催し、改修工事全般の進め方や技術の学習を支援した。						

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	2	発行予定	7
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	(一社)JBN(株)ハウスジューメン(株)日本住宅保証検査機構、(株)住宅あんしん保証、プロパティオ	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	グループ構成員の中より適任な受け皿となる業者を選定し「いえかて」等を引き継ぎフォローする体制の整備に努めた。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	事務局の一般社団法人香川県総合建設センターでは、省エネ技術講習会の香川県事務局として、工務店や設計事務所に対し、「住宅省エネルギー技術講習会」の告知、案内、開催を実施。また、当グループメンバーや四国職業能力開発大学の生徒など、若年技術者への講習会参加を促し、技術取得の意義を伝えた。平成30年度は住宅省エネルギー技術施工講習会を4回、設計講習会を2回開催。	
省エネ化に対する取組 ②	有	
内容	事務局の一般社団法人香川県総合建設センターは、公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター主催の「増改築相談員研修会」の実施団体であり、当グループメンバーの建築技術者に対し研修会を実施。平成30年度は増改築相談員新規研修会を1回、更新研修会を1回開催した。	
BELS工務店の登録数	4 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	さぬき良質住宅の会				
H30採択グループ番号	07	—	0295	—	0660

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/04/26	名称	「平成31年度地域型住宅グリーン化事業説明会」		
	内容	まず、国交省から示された2019年度事業の「ねらい」や「運用方針」を伝え、昨年度からの変更点である2段階の採択・配分方式と新設の省エネ改修型の説明、補助金額の上限や地域材、三世同居対応住宅などの内容、グループ内の共通ルールの説明をおこなった。また、本事務局が香川県協会事務局を務める「住宅省エネルギー技術講習会」の実施予定についても伝えた。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日		名称	「長寿命型住宅見学会」		
	内容	グリーン化事業に採択されたグループ参加企業の「長寿命型住宅」について、一般消費者向けの構造見学会や完成見学会を開催する。建築途中や完成時の建物を実際に見ていただき、構造耐力や省エネについての理解を深めていただくことで、「質の高い木造住宅」の普及促進を図る。						
	消費者説明会 2	有	開催日		名称	「高度省エネ型住宅見学会」		
	内容	グリーン化事業に採択されたグループ参加企業の「高度省エネ型住宅」について、一般消費者向けの構造見学会や完成見学会を開催する。建築途中や完成した建物を実際に見ていただき、高断熱・高気密住宅の快適性や省エネ性についての理解を深めていただくことで、「質の高い木造住宅」の普及促進を図る。						
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/04/26	名称	消費税引き上げに伴う住宅取得支援策とこれからの住宅性能	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日		名称	「長期優良住宅に関する勉強会」	タイプ	座学
	工務店研修会 3	有	開催日		名称	「住宅省エネルギー技術講習会」	タイプ	座学
	工務店研修会 4	有	開催日		名称	「増改築相談員研修会」	タイプ	座学
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	長期優良住宅、ゼロ・エネルギー住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅の認定基準、申請方法についての勉強会を年度内に2回開予定。参加企業に対する個別のサポートも実施する。(BELSに関する勉強会は開催済み)						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	住宅省エネルギー技術の施工講習会を4回、設計講習会を4回開催予定。						
取組み③	サポートの有無 3	有						
	内容	増改築相談員新規研修会を1回、更新研修会を1回開催予定。						

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	(一社)JBN(株)ハウスジューン(株)日本住宅保証検査機構、(株)住宅あんしん保証、プロパティオ
------------	----------	-----	---

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	グループ構成員の中より適任な受け皿となる業者を選定し「いえるて」等を引き継ぎフォローする体制の整備を引き続きおこなう。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	事務局の一般社団法人香川県総合建設センターは、「住宅建築技術高度化・展開推進事業 住宅省エネ化推進体制強化事業」に提案書を提出し、香川県事務局として建築技術者及び設計技術者に対し住宅省エネルギー講習会の告知、案内、開催を行う。また、当グループメンバーや四国職業能力開発大学の生徒などの若年層に対し技術研鑽を奨励し、講習会への参加を促す。平成31年度は施工講習会を4回、設計講習会を4回実施予定。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	事務局の一般社団法人香川県総合建設センターは、公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター主催の「増改築相談員研修会」の実施団体であり、建築技術者に対し、研修会の告知、案内、開催を本年度もおこなう。平成31年度は新規研修会を1回、更新研修会を1回実施予定。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日				
内容	事務局の一般社団法人香川県総合建設センターは、公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター主催の「増改築相談員研修会」の実施団体であり、建築技術者に対し、研修会の告知、案内、開催を本年度もおこなう。平成31年度は新規研修会を1回、更新研修会を1回実施予定。					
研修計画 ②		実施日				
内容						

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	さぬき良質住宅の会				
H30採択グループ番号	07	—	0295	—	0660

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	地域の住まいづくりを支え、より「質の高い木造住宅」を造るグループとして、下記の特徴を持つ地域型住宅を提案します。 ①【長寿命型】【高度省エネ型】共に、耐震や省エネの適合基準よりワンランク上の住宅性能を達成し、安心で快適、住む人の健康を守る住まいを目指す。 ②地域に根ざす伝統的な土壁住宅は、その構造特性に配慮した基準とする。 ③良質な四国産木材の積極的利用を推進し、地域の林業活性化を支援する。 ④地域で育まれてきた、無垢の木材や土壁、石材、和瓦、畳、襖や障子などの自然素材や伝統的な建材の利用を奨励し、職人の技能を生かした「和の住まい」を推進する。 ⑤温暖小雨の気候風土や培われてきた暮らしを考慮した設計と街並みに溶け込むデザインで、地域の住文化に根ざした住宅建築を目指す。 ⑥完成した住宅の長期的な維持管理を確実にするため、住宅の履歴情報を保存、管理する仕組みを設ける。
----	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	80%以上	■
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明			
主要構造材	土台	有	主要構造材は地域材を50%以上使用する。(但し構造上に支障のある場合は除く) 柱は105・120サイズを標準仕様とする(但しツーバイフォーや構造に支障のない柱は除く) 造作材や板材には可能な範囲で地域材の利用を推奨する。 主要構造材に40%以上の国産材の利用を推奨する。また、香川県産材の使用を奨励する。	
	柱	有		
	梁・桁等の横架材等	有		
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無		
造作材	枠材、廻縁等	無		
板材	壁板、床板等	無		

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	木材供給者・プレカット業者と連携し証明書等の共通ルール化による合理化を推進する。「合法木材証明制度」を優先する。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	防腐・防蟻処理、材の調達の共同化を推進する。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	事務局は参加施工会社の進捗状況について、施工会社以外にも情報を共有するために進捗管理表を作成し情報を一元化する。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	「長寿命型」は住宅性能表示制度「耐震等級3」、「一次エネルギー消費量等級5」以上を確保。土壁住宅は「耐震等級2」とする。「認定低炭素、性能向上計画認定」住宅はその基準から外皮性能を15%以上向上させる。地域に根ざした住文化を守り、地場産業の振興を図るため、継承されてきた地域型住宅の建て方や様式による住宅建築を必須項目として推進する。構造や仕上げ用木材は四国各県の地場産木材の利用を推奨する。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	引き渡した建物について、1年・3年・5年・10年などの経年点検計画を立案し維持管理をおこなう。定期点検等報告を「いえかるて」等に記録する。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	施工者による工程内検査や設計者による監理者検査を基礎配筋時や接合金物、構造面材等の取付時におこなう。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	出来るだけ見やすく詳細な見積書を建築主に提示し、十分な説明をおこなうことで理解していただく。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	「木造住宅・工事管理の実務」に基づいて施工することで品質の確保を図る。財団法人住宅金融普及協会「すまいの管理手帳」を完成時にお客様にお渡しし説明することで、建物の適切な維持管理の必要性について伝える。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	工事管理の方法等を年2回協議会内で検討し、業務の効率化を図り、週休2日制を推奨していく。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	省エネや耐震の技術講習会等の各種勉強会を開催し地域の建築技術者の知識や技能の向上を図る。知識を高め、処遇改善につながる資格取得のため「増改築相談員研修会」を開催し、増改築相談員を育成する。
③ 社会保険への加入	有	内容	全国建設工事業国民健康保険組合香川県支部として国民健康保険組合の加入手続きや、労働局より承認をうけて一人親方等特別加入団体を設立し、一人親方労災保険の加入促進を行っている。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	安全確保のため、工務店に安全大会の開催及び建設労働災害事例等をインターネットを用いて啓蒙する。健康の確保のため、事務局が主催してウォーキングやボーリング大会等を企画する。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	さぬき良質住宅の会				
H30採択グループ番号	07	—	0295	—	0660

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	伝統的な和室の継承と平行して、現代的な洋風の暮らしの中に畳敷きのコーナー等を一部に設けるなどの提案をおこなうことなどで、建て主に畳の活用を勧める。
② 和瓦の活用	有	内容	和瓦の高耐久性や断熱性への寄与、適切な耐震施工をおこなう事で地震時の安全性の確保もできることを建て主に説明することで和瓦の活用促進を図る。
③ 襖・障子の活用	有	内容	障子の断熱性や襖の色柄に配慮することで現代的な洋風の暮らしにもマッチすることを建て主に伝え、活用促進を図る。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	地域で継承されてきた土壁の持つ性能(防火、調湿、遮音、安全等)を説明し、告示仕様での耐力確保や付加断熱により断熱性も確保される事などを建て主に伝え、活用促進を図る。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	地域の伝統的な瓦葺きの入母屋屋根や土壁を使った真壁住宅の良さを建て主に伝える事で街並みを形成するデザインの継承をおこなう。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	晴天率の高い気候を生かした南側開口からの日射取得や地域の卓越風を参考にした合理的な通風計画を建て主に説明し地域の気候風土に沿った暮らしを提案する。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	地域の伝統的な街並みを継承するため、瓦葺き屋根仕様では適切な水勾配と軒の出があるデザインを推奨する。建物の外構計画において植栽の提案を行い、敷地内の温熱環境改善や良好な街並み景観形成への寄与を図る。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み
<p>一般社団法人香川県総合建設センター主催や、一般社団法人JBN全国工務店協会や各県の建築士会などが開催する東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震についてのセミナーや勉強会の情報を広報し積極的な参加を促す。</p>
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み
<p>豪雨災害やトラフ地震発生が警鐘される中、災害時の応急施工体制の構築及び応急仮設組立施工訓練の実施、香川県と応急仮設協議会を設置し、連携体制・仕様案・建設地のシミュレーションを行っている。又、地震災害・風水害・その他の災害時に協力する【災害時における被災住宅の応急修理に関する協定】を締結している。</p>